# Mondim de Basto

**について**
モンディン・デ・バスト
タメガ川（Rio Tâmega）の近くにあるモンディン・ド・バスト（Mondim de Basto）は12世紀、サンショ1世（D. Sancho I）の治世に建てられた町ですが、長年ここを通過していった多くの人々の足跡が今なお残っています。

町の上方にそびえるのは火山を思わせるピラミッド型をしたモンテ・ファリーニャ（Monte Farinha）です。これは海抜990メートルの急勾配の山で、その頂上にはセニョーラ・ダ・グラサ修道院（Ermida da Senhora da Graça）が立っています。この教会は7月に行われる宗教的な祭の舞台となり、多くの人が訪れます。

周辺には、エルメロ（Ermelo）村の近くにオロ川（Rio Olo）の滝があります。ここは地元では「エルメロの石弓（Fisgas de Ermelo）」と呼ばれており、一見の価値があります。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com